

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---------|--------------------------|---|----------------------|---------|---|---------------------------|---------|---|---------------|---------|---|---------|---------|---|------------------------|---------|
| 1. 科目名 (単位数) | 音楽Ⅱ (幼) (2 単位) | 3. 科目番号 | SSOT2523 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 赤塚 太郎 | | SCOT2523 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 演習、講義, 実技 | 5. 開講学期 | 春期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「音楽」「音楽実践演習」を履修していること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | 「音楽Ⅱ」では主に保育現場で行われているリズム活動に対応できるリズム感とそれを身体表現できる力の育成、子どもの楽器活動に関する理解、手遊びの習得を目指す。保育現場で行われるリズム活動では、身体を使って音楽を感じ取り表現するので、活動にふさわしい楽曲の演奏や動きに合わせて即興的に演奏する方法を身につけなければならない。また、わらべうたが培う子どもの力を理解し、わらべうたを歌い遊べるようにする。さらに主にリズム楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。1 年次に培った弾き歌いの演奏技術を継続的に磨き、手遊び歌のレパートリーも増やす。手遊び歌はわらべうた同様、アカペラで歌うものなので、正しい音程で歌えるソルフェージュ力をつける。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができる。自身も音楽に合わせリズムカルに動ける。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる。 3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。 4. 弾き歌いの演奏技術を高める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・コード奏に関する記譜の課題があります。提出期限を守って、取り組みましょう。 ・授業内で扱う内容 (リズム譜、手遊び歌、子どもの歌の歴史、記譜等) を、よく復習しましょう。 ・1曲でも多く弾き歌いできるように、練習を積み重ねましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>教科書は以下の3冊を用意してください。その他に必要な資料はその都度配布します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉原由利子、赤塚太郎 編著『あたらしいおんがくのおさらい にはほんのわらべうたと、ヨーロッパのおとと、せかいのおと』共同音楽出版社、2022。 ・岡村弘、二宮紀子、杉原由利子 編著『これだけは歌って弾こう 子どもの歌 厳選 50 曲』共同音楽出版社、2017。 ・全音楽譜出版社出版部『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動けるか。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。 3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。 4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>手遊び歌、わらべうたの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>弾き歌いの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。</p> | | | 1 | リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表 | 総合点の20% | 2 | 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表 | 総合点の20% | 3 | 手遊び歌、わらべうたの発表 | 総合点の20% | 4 | 弾き歌いの発表 | 総合点の20% | 5 | 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など) | 総合点の20% |
| 1 | リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表 | 総合点の20% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表 | 総合点の20% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 手遊び歌、わらべうたの発表 | 総合点の20% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 弾き歌いの発表 | 総合点の20% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など) | 総合点の20% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | この授業では「音楽」「音楽実践演習」で学んだことを踏まえ、さらなるレベルアップを図ります。具体的にはピアノや弾き歌いのほかに、リズム活動、手遊び歌、わらべうた、楽器遊び、合奏を取り入れ、保育園・幼稚園の現場での実践を念頭においています。ピアノ演奏や歌唱は「技術の習得」であり、毎日の積み重ねが大切です。この科目が必修科目である意味を自身で考え、自らが主体的・能動的に探究していくみなさんの姿に期待しています。なお、本学の規定により3/4以上の出席を原則とし、遅刻や遅延については、累積回数が多いとそれらを認めない場合もあるので、注意してください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業中に通知します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション、シラバス説明、授業概要、経験値に応じた課題曲選曲、音楽理論の理解度を確認 | 事前学習 | 「音楽」「音楽実践演習」で学んだことを復習する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 音楽理論の課題に取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2回 | 子どもの歌① リズム譜① 記譜及び実技① 音楽理論①音名・階名・音符・休符 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 音名・階名の違い、音符や休符の種類を確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 音名と階名の理解を深める。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3回 | 子どもの歌② リズム譜② 記譜及び実技② 音楽理論②音程 (音の幅) と三和音 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 課題曲を練習する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 音程、三和音について疑問点がないか、確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4回 | 子どもの歌③ リズム譜③ | 事前学習 | 各自の課題曲に取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | リズム活動とはどのようなものか、調べてみ | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------|--|------|---|
| | リズム活動①「自由な動き」 記譜及び実技③ 音楽理論③長三和音（メジャーコード） 次回までの課題の説明 | | る。 |
| 第5回 | 子どもの歌④ リズム譜④ 記譜及び実技④ 音楽理論④短三和音（マイナーコード） 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 基本的な音符と休符についてよく復習し、これまでに扱ったリズム譜をおさらいする。 |
| | | 事後学習 | 和音の種類や構造を復習し、理解を深める。課題曲の練習。 |
| 第6回 | 子どもの歌⑤ リズム譜⑤ 記譜及び実技⑤ 音楽理論⑤七の和音（セブンスコード） 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 七の和音について、その仕組みを考える。 |
| | | 事後学習 | 課題曲に取り組む。 |
| 第7回 | 子どもの歌⑥ リズム譜⑥ 記譜及び実技⑥ 音楽理論⑥和音の転回形 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 楽譜に目を通し、基本形ではない和音に着目し、その仕組みを考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 転回形について復習する。 |
| 第8回 | 子どもの歌⑦ リズム譜⑦ リズム活動②「拍子、ビート、フレーズ」 記譜及び実技⑦ 音楽理論⑦コードネームの総復習 次回までの課題の説明 | 事前学習 | これまでに学習したコードネームについて、要点をまとめる。 |
| | | 事後学習 | コードネームの課題を完成させる。 |
| 第9回 | 子どもの歌⑧ リズム譜⑧ 記譜及び実技⑧ 音楽理論⑧伴奏形の変化 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 手遊び歌・わらべうたを発表する。 |
| | | 事後学習 | いくつかの異なる伴奏形で弾き歌いにチャレンジし、伴奏形の変化について理解を深める。 |
| 第10回 | 子どもの歌⑨ リズム譜⑨ リズム活動③「リズムと身体」 記譜及び実技⑨ 音楽理論⑨音階 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 課題曲の練習。 |
| | | 事後学習 | リズム活動の総括として、活動の目的・意義をまとめてみる。 |
| 第11回 | 子どもの歌⑩ リズム譜⑩ 他の楽器に触れる① 記譜及び実技⑩ 音楽理論⑩調号、＃・♭のつく調 次回までの課題の説明 | 事前学習 | 保育現場で使われている楽器について、その種類や奏法を調べてみる。 |
| | | 事後学習 | 授業中に触れた様々な楽器について、音源を聴き、奏法を確認して、理解を深める。課題曲に取り組む。 |
| 第12回 | 子どもの歌⑪ リズム譜⑪ 記譜及び実技⑪ 音楽理論⑪カデンツ、総復習 次回までの課題の説明 | 事前学習 | カデンツとは何か、調べてみる。 |
| | | 事後学習 | 音楽理論の総復習課題を完成させる。 |
| 第13回 | 子どもの歌⑫ リズム譜⑫ 記譜及び実技⑫ 音楽理論⑫「総復習」答え合わせ・解説 | 事前学習 | これまでに扱った子どもの歌について、内容を整理してみる。 |
| | | 事後学習 | 課題曲に取り組む。 |
| 第14回 | 子どもの歌⑬ リズム譜⑬ 記譜及び実技⑬ 筆記テスト及び実技の発表① | 事前学習 | 授業で扱った音楽理論全般について、その内容を復習する。 |
| | | 事後学習 | 自身の発表内容・完成度を振り返り、次回の発表の準備を進める。 |
| 第15回 | 筆記テスト及び実技の発表② | 事前学習 | 実技の発表に備える。 |
| | | 事後学習 | 学期中に学習したことを復習する。 |